

【活動報告】

「スペシャルおはよう倫理塾」

2019年11月17日(日) 6時～7:00 大阪倫理会館ホールにて開催。

講師：金城えい子理事 参加人数 173名

沖縄から金城えい子理事を迎えての倫理塾には、大変多くの方が来られ、立錫の余地も無いほどの熱気に包まれての開催となりました。金城理事のお話を聞きたいという会員さん達の気持ちにあふれていました。理事も、会場満杯の出席者を眺めて、「すごいですねえ、、、」と感嘆の声を上げられて始まりました。まず、実践報告をされた、柳田さんのお話から、次男さんの勉強する様子が見られないとの事から、親子、祖先からの受け継ぎについての話があった。二番目というのは、父親から受け継ぐものが多くある。柳田さんも別れたご主人の嫌いな面を持つ次男を受け入れようと心を変えた時、埋もれていた能力が発揮され成績も目を見張るほどの結果を見せるようになったという報告だった。

人はよく、「徳」を積まないといけないうけけれど、「徳」という字は、人が十四年積んだ心と書きます。その字の通り、人知れず、人が見てないところで十四年くらいの長い年月がかかるほど、人に喜んでもらう事を積み重ねていくことで「徳」が積まれていくのです。子や孫に「徳」を残していくといけません。とも話していただきました。理事も、開始の前に心の中で、今日のSP倫理塾は大成功に終わりました！と宣言されたようです。言霊という事も前回来阪された時におっしゃっていましたが、強く心で念じるとそれが現実になるという事を目の前で見ていただき、今回のSPおはよう倫理塾は、理事の念じた通り、みなさん笑顔で楽しい1時間を過ごす事が出来ました。



「東住吉会場 おはよう倫理塾 お誘いデー」

2019年11月15日(金)5:00～5:50 講師：吉江章生研究員 出席者：25名

東京生まれの研究員が、初めて大阪の東住吉会場におはよう倫理塾お誘いデーに来られました。昨夜の純粋倫理基礎講座第二講はとてもしっかりと講義していただきました。そこで元自分は、20歳から働かず、毎日ゲームをし、7年間昼夜逆転生活をしていました。ある時、義理の兄の声掛けで、おはよう倫理塾に通うようになり、どんどん自分自身が変わり、富士倫理学苑で研究生となり、今に至ります。と自己紹介されたので、それってすごいですねと。おはよう倫理塾が始まる前にお話ししたら、おはよう倫理塾では、ご自分の自己紹介に続き、倫理に入るきっかけと経緯を話してくださいました。(私の息子も毎日ゲームをし、昼夜逆転生活を長らくしていましたので、気になるところです。)今の吉江研究員になるまで変身する周囲の声掛けと、自分の心と体の動きをお話してくださいました。吉江研究員が、生まれ育った環境と周囲の声掛けと大変な努力で少しずつ良い方に変身していく話を東住吉会場の皆で、スゴイスゴイと熱心に聞かせていただきました。最初に声を掛けてくれたのが義理の兄だったこと。通い始めたおはよう倫理塾の方達がみんな温かく全てを受け入れてくれたこと。少しずつ出来て自信となっていくこと。どの部分を取ってもいつ崩れるかもしれなかったが、嫌っていた祖父の厳しさが今となってはその厳しさがあったから、一つずつ乗り越えてこられた。昨日の純粋基礎講座の苦難はそのまま美である。ことが本当に感じられた。と話された。東住吉会場でも、それぞれが身近な人に共通することと真剣に聞き入りました。

「スペシャルおはよう倫理塾」

2019年2月3日(日)6:00～7:00開催。参加者：大阪89名＋和歌山10名＋中川理事＝100名。

刀祢京子さんの実践報告に続き、中川ヤスエ理事の講話。

刀祢京子さんは子供の良いところを見てあげてください、長所を伸ばすと欠点は見えなくなります。と、勉強を始め、離婚後看護資格を取り、40年働き、再婚もでき、母からの倫理に続き、娘、孫、ひ孫へ5代目にわたり続いています。

無口で消極的で、陰気であった中川理事が倫理の勉強をし、新世頒布をし、主人と出会い、二人の娘に恵まれ、信ずれば成り、憂えれば崩れる。信じたとおりに思ったことがかなえられていくと話された。

丸山敏雄先生の「心訓十戒」を掲げ、実践の目標を示していただく。



「スペシャルおはよう倫理塾」

2018年10月13日(土)6:00~7:00、参加人数:85名

講師:澤谷直行主任、大木総務部長、ハダス・ヘレデス(イスラエル)丸山奨学生。

東野英子さんが聴覚障害のある長女さんが離婚や職場での困難を乗り越え、お母さんへの感謝の言葉を聞けて嬉しかった実践報告をされた。

丸山奨学生のハダス・ヘレデスさん(イスラエル)が滑らかな日本語で、自己紹介されました。日本の政治・歴史・文化に興味があり、日本に来られ、大阪大学で人間関係のプロジェクトを通して社会活動をし、法学、政治を勉強されている。夜の難波ではみんな楽しそうにお酒を飲んでいます。とも話されました。

その後、澤谷講師が丸山敏雄先生が書かれた「青年の倫理」に足下を掘れと、あります。自分の生まれた環境の中に居ては自分の環境はわからない。自分の考えが正しいと思って人に押し付ける。他人の言うことを聞けない。人に説教をする。自慢話をする。そういう人間になってはいないか?考えてみましょうと話されました。



「スペシャルおはよう倫理塾」

2018年7月22日(日)池田ふじゑ理事をお迎えして開催。参加者139名。山口哲也さんが実践報告されました。

「研究所の方にご指導頂き熊本にいる両親に毎日のはがきを書いて送りはじめて8年、二千通近くのはがきになります。先日こんなことがありました。久しぶりに母親に電話をすると「声ば聞きたかった!哲也の声が聞きたかったよ」と言うのです。はがきはせつせと送っていましたが電話はあまりしていませんでした。母は息子は忙しいからこちらから電話をして邪魔をしたらいけないとはがきを眺めて息子から電話のかかるのを待っていたのです。私は母親の気持ちになっていなかったと深く反省しました。ただはがきを書くことで親孝行しているつもりになっていたのです。私は毎週月曜日にはおはよう倫理塾に参加しています。その時、会場の皆さんとお会いすると母とダブります。だから最近は月曜日には母に電話をします。倫理は実践すればするほど奥が深いです。しかしそれは大変ではなく、もっと違った自分、変わっていく自分を見てみたいと言う気持ちになります。」との報告でした。池田理事は講話で実践をしていて、すぐに結果がでるもの、なかなかでなくて時間のかかるものがあります。どんな時も「明朗・愛和・喜働」を忘れずにと結ばれました。



「平野会場 お誘いデー」

参加者38名。2018年6月2日(土)朝5時から、寺嶋研究員をお迎えして、おはよう倫理塾が行われました。

未会員さんの参加もあったので、おはよう倫理塾の意義をはじめにお話しされました。

そのあと、親祖先のつながりのお話から子供につなぐことをご自身の体験報告を交えてわかりやすくお話しして頂きました。



「スペシャルおはよう倫理塾」

2018年2月4日(日)、澤谷直行主任をお迎えして、参加者 143 名。
実践報告では、長年夫婦愛を学んでこれて自分を見つめなおしたお話を聞かせて頂きました。
澤谷直行主任の講話では、病気・健康に関する相談が多いことから肉体の健康管理と心の健康管理が大切だと言われ、心は明朗、朗らかに笑う、歌い、上を向き、体に感謝してください。そして家族一緒にテレビを観るのもいいですねと言われ、健康管理の秘訣は、受け入れ、ほめて生活することですと学ばせて頂きました。
最後に、心と体の健康管理を育み、素晴らしい家庭作りを邁進しましょうと結ばれました。その後、スペシャル座談を行いました。



「おはよう倫理塾（中央会場）」

2017年9月10日(日) 中央会場では、参加者36名(内子供3名)でした。
講師は藤崎 正剛部長をお迎えしました。実践報告者は、吉水 玲子さんと井上 まゆみさん。



「おはよう倫理塾（東住吉会場）」

2017年9月10日(日) 東住吉会場では、寺島研究員をお迎え、楽しい時間を過ごしました。





「平野3支部合同セミナー」
2019年9月21日(土)大阪市平野区「杭全神社 瑞鳳殿」にて開催。
講師:筒井道行 講師
テーマ「後悔しない生き方?たった一度の人生だから」
45名参加。未会員、普段来られていない方も多数参加。
講師のお話の後のグループトーク、その後グループごとに質疑応答をするという形式にし非常に盛り上がりました。セミナー開催の翌日から「おはよう倫理塾」に来て下さる方があり、おはよう会場全体の喜びとなりました。



「中央支部 クリーンアップ作戦」
2018年11月23日(祝)、大阪市のクリーンアップ作戦に参加しました。
大阪倫理会館周辺の清掃しました。
朝6時からでしたが、16名も参加がありました。
皆さんで楽しく掃除ができました。



「今川支部懇談会」
2018年9月23日(日)開催。
大人19名、子供3名参加。
南田辺支部と合併した今川支部の初めての顔合わせ懇談会。
たまたま双子ちゃんを子育て中のお父さんも加わり、賑やかに和やかに、食事や懇談やカラオケ大会をしました。



「南田辺支部懇談会」
支部の皆さんでお花見に行きました。
桜を眺めながらお弁当を頂きました。
晴天に恵まれ、話も弾み、和やかなひと時を
過ごすことができました。



「中央支部懇談会」
2018年4月1日桜宮公園にて、参加者12名。
ほかほか陽気で、桜が満開でした。和やかで楽しい時間でした。



「中央支部」
2017年11月11日。大阪市全域での清掃活動をよびかける。
平成29年度「大阪マラソンクリーンUP作戦」に参加しました。
早朝から、大阪倫理会館周辺を掃除しました。

◆生涯学習

・純粋倫理基礎講座



「純粋倫理基礎講座(第3講)」
2020年1月22日(水)15:00~16:15開催。
テーマ「明朗の実践」 講師:金城えい子理事、参加100名!

金城理事の楽しい講座で学びたいと大勢の会員で埋まりました。実践報告をされた、中前さんの話から、ご主人に対する見方が変わったのは、中前さんが実践を積むことで、心が明朗に変わっていったからです。明朗に変わっていったから、ご主人のいい面を見ることができたのです、とおっしゃいました。丸山理事長もおっしゃっていた、心の反転についても述べられ、ある一面しか見ていなかったら、その一面しか見えない。心を明朗に変えるとまた違う一面が見えてくるのです。すべて心の在り様で変わるんです。

本当の明朗というのは、自分の元である、親祖先に感謝すること。そうでないと、エネルギーをもらえません。葉の第17条にも書かれています。人生は演劇である。小我に生きるのではなく、大我に生きなければなりません。一人でも多くの方に、倫理を伝え喜んでいただき、自分が変わり、心のハグをしましょうね。と、明るい言葉で講話をしていただきました。



「純粋倫理基礎講座(第2講)」
2019年11月14日(木)19:00~20:15開催。
テーマ「苦難観の革新」 講師:吉江章生研究員、参加48名。

2年ぶりに西日本担当となられた吉江研究員による、講義。7年間ものひきこもり状態であったが、義兄の誘いで倫理を学んでいき、現在は研究員として活動しているというご自身の環境の変化の事も交えながら、第2講の講義が始まった。

前回の第1講「創始者の生涯」を振り返り、改めて丸山敏雄先生の壮絶な人生と、倫理運動が昭和20年9月にスタートするまでの事を教えていただき、この倫理を一人でも多くの人に伝えて欲しいとおっしゃられました。



「純粋倫理基礎講座(第1講)」
2019年9月22日(日)10:00~11:15開催。
テーマ「創始者の生涯」 講師:筒井道幸(生涯局講師)、参加者71名。
実践報告者は、平野北支部 田中悦代さん、平野宮町支部 米倉友子さんの2名。
倫理研究所の創始者である、丸山敏雄先生の明治25年の生涯から昭和26年に永眠されるまでの生涯を年表に沿って辿っていく。現在、一般社団法人倫理研究所と改称され、実行によって直ちに正しさが証明できる生活法則は万人幸福の策、17ヶ条に集約されている。筒井講師は、最高善、「福徳一致」という言葉を用いて、創始者の壮絶な生涯を説いていった。参加者は、熱心に、丸山敏雄先生の生涯と、倫理研究所の誕生を拝聴した。実践というのは、その思いが暖かいうちに行い、正しい実践は正しい方につながっていくものである、そして一貫の倫理実践として、一日一回同じ時間に同じ事を繰り返すというのも、大きな実践の一つである、という事も教えていただいた。



「純粋倫理基礎講座(第14講)」
2018年11月10日(土)15:00~16:15開催。
「七つの原理」 於:大阪倫理会館、講師:中川ヤスエ(生涯局講師)
実践報告1:平野北支部 秋田たづぬ、主人は黙ってよく働く人でした。わたしも仕事は喜んで働きます。

実践報告2:阿倍野支部:島美智代:縁あって支部長のお役をいただき、毎朝おはよう倫理塾に参加しています。リレー旗布をし、新世のご本を受け取っていただいた方に心で、芽を出してくださいと祈りを込めてお渡します。毎朝読み上げる十七ヶ条はすべて七つの原理に基づいた生活法則です。おはよう倫理塾は、年齢、職業、学んだ年数に関係なく学べる場です。目に見えない地面の下の七つの原理に基づき、目に見える明朗、愛和、喜働の実践をします。目に見える明朗、愛和、喜働の実践は、地面の下で見えない七つの原理とつながっています。先ずはあるがままに一切がこれが良いと受け止め実践目標をつつ決めて、実践しましょう。



「純粋倫理基礎講座(第13講)」
2018年10月12日(金)19:00~20:15開催。
講師:澤谷直行主任、出席者:70名。

前回の「運命は自ら造る」に沿って、入会のきっかけからお誘いした方も、自らの実践で行いを改め子供や夫婦関係が改善され、運命は変えられると実感した報告を多田容子さんと池澤初枝さんにいただいた。そして、この日は「創生の理念—家庭倫理の会 憲章—」を学ぶ。家庭倫理の会組織が、支所⇒実践部⇒支部に変わり憲章が作られ、創生の理念と目標が定められた。具体的に「活動指針」と「よくする活動」が示された。毎日「会員心得」に沿って日々過ごしていくと明朗愛和の家庭が築かれます。曜日や朝・昼・夜のいろいろなパターンで純粋倫理基礎講座が行われますが、9/29(土)午後の予定が台風で中止になり10/12(金)夜の開催となる。土日が都合が良いか、昼または夜が都合が良いか難しいところである。



「純粋倫理基礎講座(第12講)」
7月21日(土)池田ふじゑ理事をお迎えして開催、53名参加。実践報告は小倉和美さん。

先日発生した大阪北部地震の被害を少し受けた地域にすんでいるがこの倫理を通して、この大自然の変動期を乗り切れると確信していること、また、いろんな人におこえかけて、この素晴らしい倫理をしてもらうよう頑張ります、との報告。続いて池田理事の講座。一切が善である、自分に起こってくることにはずべて意味があり、すべてこれが良いという姿勢が大切。実践の基本は明朗・愛和・喜働であり楽しく倫理運動をしていきましょうと締めくくられた。

◆子育て・子供倫理塾 ・子育て&思春期セミナー

「思春期セミナー」2020年1月19日開催 講師：金城えい子理事
テーマ「自立して成長するには～人のせい、親のせいにならない子に育てるには～」
思春期の子供は心も体もひとりの人間としての一歩を踏み出す準備をしている。子供にあしろうしろと言うと、子供はいっぱいいっぱいになり反抗してくる。親のエゴを押しつけない！と学びました。愛情が満ちていないと自信がつかないと教えて頂き、すぐに出来るマッサージや同じ時間を共有することで愛情を伝え、反抗してきても当たり前で、全てを認めていくことの大切さに気づかせて頂きました。フリートークの時は多くの方が金城理事の個人指導を受けたいと並んでいました。



「吹田 子育てセミナー」2019年11月20日開催 講師：山城れいこ講師
テーマ「仕事しながらの子育て～親の感情コントロールどうすればいい」
限られた時間で愛情を伝える工夫を具体的に話をして体験談を交えながら笑いあり、まず、ハイとご主人の言われた事を受け入れる事の大切さを教えていただきました。一人一人の質問にも丁寧に答えてくれる優しい雰囲気の子育てセミナーでした。



「和歌山 子育てセミナー」2019年11月14日開催 於北コミュニティセンター 講師：宮城麻里育成講師
参加者4名のうち、未会員は2名で、うち1人は飛び入りの参加でした。
宮城麻里育成講師が、「仕事をしながらの子育てに必要なこと」のテーマで講話。忙しい時でも幼少のときは「ちょっと待って」、「後で」と言わず話を聞く、児童期は否定せず共感し、出来た事をほめてあげましょう。夫婦がしっかりと話し合いをし、お母さんが楽しくイキイキと過ごす事が大切と話されました。参加者は、熱心にメモを取られていました。フリートークでは、皆が家庭の様子、悩みを話し、大いに共感し、盛り上がり、少人数ながら中身の濃い内容になりました。参加者は食事前、登校、就寝前にイライラして怒らない、大好きと、言葉に出して子供に安心を与える実践をしたいとの感想がでました。



「思春期セミナー」10月27日(日)開催 金城えいこ講師 テーマ～子どものスマホの使い方～
明るく自己紹介をしてください、和気あいあいとした大阪の雰囲気を褒めてくださいました！スマホだけでなく次々と出てくる新機能に対応していかなければならない今、子どもは何かにつけて不安、親子のつながりが薄れていると言われました。時間制限など対策が必要で、守れない子どもが多いけどどうして守れないのか？それは愛の三原則が足りず求められているのです。時間の共有、スキンシップ、声かけ、特にスキンシップをとる事です。小さな子どもみたいにハグはできませんが、マッサージするんです・・・と教えて頂きました。思わず参加者からもう講師最高！と言う声が聞こえてきました。他にも多くの実践方法を教えて頂きました！沢山の学びがあった思春期セミナーでした。



「子育てセミナー&思春期セミナー」
2019年1月13日開催。参加者15名、入会1名。
イライラ子育てからワクワク子育てに。兄弟の順序の大切さを学びました。午後からは思春期セミナー15名の参加。質疑応答では過保護のことや、受験の話、子供の嘘、兄弟の不仲など盛りだくさんでお悩み解決！有意義な時間を満喫しました。



◆子育て・子供倫理塾

・子育て&思春期セミナー

「子育てセミナー」

2018年11月25日10:30~12:00。クレオ大阪中央にて開催されました。

テーマ「子供の個性を見つけ伸ばすために」。講師は小林宜子さん。参加者24名、入会2名。

一柳陵子さんの子供倫理塾から家族で入会し、今では子供が倫理実践クラブ活動に倫理を活かして活躍しているという喜びの報告。そのあと小林講師にお話していただきました。



「子育てセミナー&思春期セミナー」

2018年10月21日(日)開催。子育てセミナー:23名中4名入会。

テーマ「誉め方叱り方のコツ」実験報告に梅若かおるさん。7秒のギューの実践をすることで自分が心のゆとりができ、自分で中々準備しなかった息子が、ママ！自分で用意するから大丈夫！と言ってくれるようになった。と報告。講師からは、子供の良いところを記入し、誉め方を教えて頂きました！

思春期セミナー:23名参加、入会1名。テーマ「子供の受験、就職を成功させる為に」。子供の美点を毎日一つ見つける実践をしてみてください！成績があがります！と教えて頂きました。



「子育てセミナー」(6/17)10:00~11:30

2018年6月17日、今年度最後の子育てセミナーが行われました。

まず最初に子育て委員の芝恭子さんの実践報告では、一年間のセミナーを通じて芝さん自身がかかった報告をしていただきました。セミナーで聞いたことを家庭で実践しようと努力してきたことで、家庭に笑顔が増えた事、子どもたちの冗談を同じように冗談で返すことにより旦那様にも変化が見れるようになってきたと嬉しい報告をしていただきました。

講話のテーマは「子どもと一緒に楽しく後片付け」と言う事で、子どもが後片付けできないのは親が出来ていないからだという講師の言葉に「たしかに・・・」という苦笑いの参加者。まず親が片づけ上手になりましょうと教えて頂きました。子どもが楽しく後片付けできるように、ふた無しのカラーボックスに分けて入れる方法など具体的な方法も教えて頂き、最初は親が手伝ってあげて、見本を見せてあげる大切さも教えてもらいました。一年間の締めくくりとして改めて、子どもの話を聞くときは子どもの手を取り、子どもの目線に下りて、ゆっくり話を聞いてあげましょうと教えて頂きました。

「思春期セミナー」(6/17)14:00~15:30

参加者17名+講師1名で最後の思春期セミナーが行われました。

思春期セミナーは、実践報告なしで、講話から始まりました。テーマ「ひきこもりはだれにでもおこる」です。はじめに、ひきこもり(登校拒否)の定義をお話されました。統計的に、20代後半から30代が多いと聞き、参加者は驚いていました。

ひきこもり子供の共通点、そしてひきこもりの親の共通点を教えて頂き、親子の信頼関係を築くことの大切さを教えて頂きました。そして、親の役割として、夫婦仲良く、明るい家庭を築くこと、一切の心配を捨て、親自身の天職に喜んで打ち込み事と話されました。質疑応答では、ひきこもり子供の共通点のひとつにある、コミュニケーション障害の友達をもつお母さんが質問されました。

お子さんがお友達(コミュニケーション障害があります)との付き合い方に悩んでいて、どんどんそのお友達と関わるのがしんどくなってきているという内容でした。高松顧問の回答にお母さんも笑顔がでて、お子さんに教えてみますと元気におっしゃられました。

子育てセミナー



思春期セミナー



「子育てセミナー」10:00～11:30

2018年3月4日(日)大人11名、子ども達7名が集っていただき子育てセミナーが開催されました。今回のテーマは『新しい友達と楽しい生活』という事で、四月から新しい環境に移る子どもたちも多中で、講師からの興味深い講話を聴かせていただきました。子どもが新しい環境に早くなじみ、社会的に生活していくためにはまず親が社会的にならなければなりませんとお話がありました。言葉を返せない赤ちゃんでもお母さんの声を聴いて社交性を身に付けていくのだと教えて頂き、胎児、乳児の時期にも大切な母親の役割があるのだと教えて頂きました。質疑応答では、子ども同士のけんかをどこまで行ったら止めるべきかという質問がありました。危なくなってきたら、人にけがをさせそうになったらと教えて頂きましたが、その止め方にもただ大きな声で叱るのではなく、ユーモアを効かせてね、という講師のお言葉。なんだか、またしっかり頑張れるような気がすると、明るい顔で帰って行かれたお母さんの顔が印象的でした。

「思春期セミナー」13:00～14:30

3月4日(日)午後から高松祐子顧問に入って頂き、参加者講師含め18名で思春期セミナーが行われました。テーマは、「異性と交際について」ということで、今の子どもは性の意識が早く、問題視されることもあるけれども、親は子供が特定の異性と交際することを禁じることはできないと最初にお話しされました。子どもを信じること、青年期の親の姿勢、正しい性教育とは、そして、思春期から結婚の重大性を教えるなど、どれも興味深い講話でした。質疑応答のあと、前回それぞれが決めた実践について報告しあいました。ほんの少しで結果が現れた方も数人いて、次は私もがんばるわっと話しているお母さんもいました。

子育てセミナー



思春期セミナー



「子育てセミナー」

2017年10月23日(日)朝10時半から今年度第2回目が開催されました。参加者は9名、託児の子ども達4名でした。

「褒めて伸ばす子育て術」をテーマにお話しして頂きました。親の口癖が子どもの人生を変えますよとの強いお言葉に親としての責任を感じたセミナーでした。

「子育てセミナー」

2017年9月17日(日)学童期の保護者9名に参加して頂き、『子どもの長所の伸ばし方』というテーマで子育てセミナーが開催されました。

子どもが愛されていると感じ、親に共感されて安心して過ごすことで子供の意欲や自主性が伸びていきますという顧問の言葉を聞き、親の無条件の愛情の大切さを教えて頂きました。

◆子育て・子供倫理塾

「子育てセミナー・子供倫理塾クリスマス会」
 2019年12月21日(土)大阪倫理会館ホールにて開催されました。
 参加者:大人21名、青年2名、子供22名(未会員10名)。
 牛乳パックでタンバリン作りでは、鈴をつけるのが難しく小さい子供はお母さんに手伝ってもらい完成し、クリスマスソングの場面で早速作りたてのタンバリンをたたいて喜んでいました。
 ゲームの時間では、スプーン送り、風船渡し、鉛ちゃんジャンケンをみんなで楽しみました。軽食を食べてお腹いっぱいになり、今年もサンタさんからプレゼントをもらい、子供達の嬉しそうな笑顔を見せてもらいました。副委員長さんや三役の方参加者さんたちにも沢山お世話になり、楽しいクリスマス会を開催させていただくことができました。



「子供倫理塾」
 2019年1月6日、大阪倫理会館にてお正月遊びをしました。
 福笑いを作って遊んだり、折り紙でコマをつくって楽しみました。



「子供倫理塾&親子セミナー&クリスマス会」
 2018年12月23日(日)、大阪倫理会館オールにて開催、57名の参加。
 親子セミナーでは親子でじゃんけんして、お互いの良いところを伝えハグしたり、バルーンアートでリース作り。宝探し、ケーキ作りして軽食を頂き、ドイツから来たサンタさんにプレゼント頂きました。



「子供倫理塾」
 2018年11月11日(日)開催。
 トイレtpーパーの芯で飛行機を作りました。女の子はシールやマジックで可愛い飾り！男の子は飛ばして楽しんでました。最後にお菓子のつかみ取り！大盛り上がり！でした。



◆子育て・子供倫理塾

・子供倫理塾

「子供倫理塾」

2018年7月22日(日) 10:30~12:00 今回の参加者は子ども4名、青年1名のうち2名の小学生が初参加でした。短歌講師の指導のもと、子ども短歌コンクールに提出する短歌を作りました。夏休みに入ったばかりで、プールに関する短歌を作ってくれた子や、おじいちゃんやおばあちゃんの家へのお泊り会について詠んでくれた子もいて、子どもたちの豊かな言葉選びに感銘を受けました。初参加の子供達は大人たちに褒めてもらい、とても満足そうに「めっちゃ楽しかった！また来たい！」と感想を残してくれました。

暑い夏、子どもたちが元気に夏休みを過ごしてくれるよう、子育て委員一同見守っていききたいと思います。



「子供倫理塾」

2018年2月11日(日)開催いたしました。子ども12人、青年1人、大人8名の参加で、来月のお雛祭りに向けて、ひな人形を作りました。紙コップに折り紙を貼りつけて、着物を作っていきますが、なかなかまっすぐに貼ることが出来ず、悪戦苦闘しました。紙コップが丸くなっているため、貼るのが難しかったようです。ですが、みんな一生懸命に頑張ってくれました。ちょっと時間が超過してしまうほどみんな熱心に集中してくれて、可愛いおひなさんが出来上がりました。



「子供倫理塾」～クリスマス会～

2017年12月24日(日) 大阪倫理会館2Fホールにて、クリスマス会が行われました。小学1年生の男の子が大きな声でファイアクトを斉唱してくれたので、クリスマス会の勢いがつきました。チームに分かれて、借り物競争、神経衰弱ゲームで点数を競いました。年上の子どもが、年下の子どものサポートをしながら、どのチームも楽しみながら頑張りました。



「子供倫理塾」

2017年9月24日(日)開催。大阪倫理会館2階ホールで運動会を行いました。みんな笑顔いっぱいでした。



・青年倫理塾 & 青年フォーラム

【活動報告】

「青年倫理塾」

2019年9月14日(土) 19時より大阪倫理会館 研修室にて開催。

講師: 加井幹人 研究員

参加人数: 7名 保護者: 2名

開始時2名でしたが、7名になり、楽しく夕食を楽しむ光景に感動しました。



「青年倫理塾」

2019年1月14日(月・祝)開催。

「やればできる～ 砂漠緑化と地球倫理」というテーマでした。参加は4人で 映像を見ながら地球の大切さ、やればできる！など学んでいました。



「青年倫理塾」

2018年8月9日(木) 19:00～20:00 大阪倫理会館にて内田隆之 研究員をお招きして行われました。

青年10名の参加がありました。青年フォーラムのビデオをみました。今回初めて青年倫理塾のお手伝いをされた北摂の方々が、美味しいお弁当と大きくて甘いスイカを用意して下さいました。



「青年フォーラム IN 大阪」

2018年7月8日(日) 大阪ビジネスパーク円形ホールにて行われました。大阪市から2名の弁士が登場しました。

一人目は、一柳 寛君(中学2年生)。吹奏楽部に入学してからの自分の成長を実践を交えて話しました。トップバッターでしたが、とても堂々と会場に響き渡る声で発表していたことに、寛君の成長をそばで見ている会員さんからも感動したという感想がたくさんありました。

二人目は、能木 彩歌さん(大学1年生)。大学受験を通して、自分に起きてくる出来事で無駄なことは何ひとつないということを学んだことを経験をまじえて話しました。嬉しいことに、彩歌さんがユース部門で最優秀賞を受賞され、参加した会員さんからは歓声が上がりました。また、彩歌さんはこのことをきっかけに毎月開催の青年倫理塾にも早速参加され、周囲を喜ばせてくれました。



◆シニア活動

・シニア活動

「世界遺産・仁徳御陵と深まる秋・紅葉を愛でる旅」

2019年11月24日開催。参加者：24名+子供2名、場所：仁徳御陵（世界遺産）と大仙公園。

倫理運動の創始者、丸山敏雄先生が大阪府堺市在住の時代に毎日参拝された、ゆかりの深い御陵を今年7月にユネスコ世界文化遺産に登録された、という事もあり、「秋の小旅行・シニアイベント」として開催しました。予報で心配された、雨も降らず好天気に恵まれた。日本庭園の紅葉がタイミング良く、真っ盛りで参加の皆さんは感動されていました。ボランティアガイドの方もついていただき、説明を受けながら仁徳御陵を参拝しました。近いようでも仁徳御陵は、初めての方が多く喜んでくださった。世界遺産に登録されたという事もあり、町中が美しく整備されていました。食事休憩中は、歌や、ゲームも準備して、他会場の方々との交流もあり、今後の活動に向けても、「愛和」のつながりが出来た良い機会となりました。



「お笑いファッションショー」

2019年5月26日（日）。

大阪倫理会館に於きまして、シニアの方々によるお笑いファッションショーが行われました。

企画運営がとても良く、変身したシニアの方は役になり切り、司会、演出、BGMも上手で出演者も観客の方々も大いに笑って、楽しい一日となりました。



「シニア展示会&カフェ・ミニバザー」

2019年1月20日（日）～23日（水）開催。出品数：28点、参加者：98名。

家庭倫理の会大阪市では、来る3月10日開催される「シニア弁論大会」が盛り上がりそうですよとの願いを込めて、シニア展示会を開催しました。長い人生を歩んで色々な経験をしてこられた方々に今も大切にしている物や思い出の品等をお預かりして、「私の宝物」と題して出品（一言コメントを添えて）。

また、会役員の若い力をお借りしてミニバザーとミニカフェも同時開催しました。たくさんの会員の方々への応援やご協力を得て盛況のうちに終わることができました。老いも若きも力を合わせて一つの行事をやり遂げる楽しさと喜びを味わうことができ、次なる行事の大きな弾みとなることを確信いたしました。

<家庭倫理の会大阪市 シニア委員一同>



・しきなみ短歌会 & 秋津書道会

「初めての短歌、書道教室」 2018年5月26日(土)

<短歌>

豊里連合会館に於いて西田和佳子短歌講師をお迎えして初めての短歌教室を開催しました。(短歌は少しハードルが高く感じられますが、なんでも題材になりますよ、よく見て言葉にいきましょう。)と分かりやすく講話があり、参加者は頭を捻りながらも、楽しく歌を詠みました。三支苑が集まり18名の参加で和やかな雰囲気の中での短歌会となりました。



<書道>

午後法月和恵書道講師をお迎えして初めての書道会を開催しました。講話の後、(和)の一字を一筆ずつみんなで書きあげ、和やかな雰囲気の中始まりました。今年度のテーマに相応しく、夫婦、親、子、孫と三世代の家族参加がありました。又たまたま会場にいられた方が、覗かれ、熱心に見学、興味深く質問されていました。28名の参加で賑やかな実りある書道会となりました。



「初めての短歌、書道教室」 2018年1月23日(火)

<短歌>

甲斐文化部主事をお迎えして振興センターにおいてはじめての短歌教室が開催されました。18名参加のうち未会員5名。日本語ができ、数が数えられれば作れますの講話に初参加の方々も子供の事、夫の事、仕事の事を初々しく詠まれ、楽しかったとその場で3名入会され、楽しい実りある会となりました。

<書道>

甲斐文化部主事をお迎えしてはじめての書道教室が開催されました。23名参加のうち未会員5名。甲斐主事より筆の持ち方、運び方の指導があり、大切な人への想い、夢なんでも書いてみましょうと参加者が筆をもちました。初めてとは思えない堂々とした書ができあがり、家族へのプレゼントとなりました。

